

第四号議案

大分県立南石垣支援学校移転開校後の校名候補等について

大分県立南石垣支援学校が移転開校するに当たり、校名候補、設置学部、設置学科、位置及び設置時期について議決を求める。

令和七年七月二十五日提出

大分県教育委員会教育長 山 田 雅 文

提案理由

特別支援教育推進計画に基づき、大分県立南石垣支援学校が令和八年四月に移転開校することに伴い、校名候補、設置学部、設置学科、位置及び設置時期を決定したいので提案する。

大分県立南石垣支援学校 移転開校後の校名候補等について

1 校名候補

「校内検討委員会」からの推薦を踏まえて、校名候補を下記のいずれかに決定したい。

大分県立 別府やまなみ 支援学校

大分県立 別府羽ばたきの丘 支援学校
(別府はばたきの丘)

大分県立 別府かがやきの丘 支援学校

大分県立 別 府 南 翔 支援学校

2 設置学部及び設置学科

移転開校を目的として設置するため、現南石垣支援学校と同様である下記のとおりとしたい。

設置学部：小学部、中学部、高等部

設置学科：普通科

3 位置

移転先となる、別府羽室台高校跡地の位置としたい。

別府市大字野田565番地

4 設置時期

移転開校に係る準備を円滑にするため、下記の期日としたい。

令和7年10月1日

【参考】

大分県立学校の設置に関する条例（昭和３９年大分県条例第５７号）の一部改正に係る議案を令和７年第３回定例県議会に上程する予定

大分県立南石垣支援学校の移転開校後の校名候補について

○校名決定の考え方

移転に合併・統合・閉校等の要素がなく、純粋な学校の移転であることを鑑み、校名は校内公募（児童生徒、保護者、教職員）とし、校内検討委員会で下記の４案を選考

【校名候補決定の視点】

- ・児童生徒が覚えやすい校名
- ・地域性をイメージしやすい校名
- ・学校の願いやコンセプトがこめられ、明るく前向きな印象を与える校名

校名候補案

1	べっぶ 別府やまなみ 大分県立別府やまなみ支援学校 ※略称 やまなみ支援	○山並み＝別府市は南北に鶴見岳・伽藍岳を望み、景観のシンボルとなっている。新校はその麓にあるため。 ○山と波の組み合わせ＝新校は木々に囲まれた高台にあり、同時に別府湾の海を一望できるロケーションにある。 ○児童生徒が覚えやすく、書きやすい。
2	べっぶ は おか 別府羽ばたきの丘 大分県立別府羽ばたきの丘支援学校 ※略称 羽ばたき支援	○新校のある丘から海へ飛翔するイメージ。子どもたちがここから羽ばたき、自分らしく社会で活躍してほしいという願いが込められている。 ○「羽」は漢字にし、羽室台の一字を踏襲することで、地域に受け入れられ、応援される学校を目指す。 ○「羽」「丘」は児童生徒も書きやすい。 ○「<u>大分市立敷戸小学校はばたき分校</u>」「<u>大分市立植田東中学校はばたき分校</u>」が既に存在
3	べっぶ おか 別府かがやきの丘 大分県立別府かがやきの丘支援学校 ※略称 かがやき支援	○新校で子どもたちが輝きを放つように、という願いが込められている。 ○ロケーション的にも森を抜けた高台にあり、光を浴びて学校が輝いて見えるはず。 ○児童生徒が覚えやすく、書きやすい。
4	べっぶ なんしょう 別府南翔 大分県立別府南翔支援学校 ※略称 南翔支援	○「南」は、南石垣支援学校の歴史や絆を大切にし、学びの場を引き継ぐ意志を表す。「翔」は、未来に向かって自由に飛び立つイメージで、子どもたちが持つ可能性と希望を象徴するとともに、羽室台高校の「羽」の字を含んでいる。